



学校だより



== 令和8年 3月13日 ==

「八戸聾学校の卒業生から学ぶこと」

教頭 成田 章

今年度は、卒業生と会う機会が度々ありました。卒業生に会ったことについて述べます。

運動会や学習発表会の時には、毎年卒業生が訪れます。昨年度卒業し、高校（高等部）1年生になった卒業生は、中学部3年の時には進路で悩んでいた様子が見られましたが、明るい表情が見られ、お世話になった先生方に積極的に話かけ、現在の様子を伝えていました。

8月には、ポータルミュージアムはっちで同窓会がありました。八戸聾学校同窓会の特徴は、平成6年度まで高等部があった時代の卒業生が運営していることです。同窓会では東京2025デフリンピックで女子やり投げに出場した古川さんと冬季デフリンピックのカーリングで銅メダルを獲得した荒谷さんが、デフリンピックについて話をしました。古川さんは出場に向けての思いを、荒谷さんはメダルを獲得した時の様子を熱く語っていました。荒谷さんのご子息も八戸聾学校の卒業生であり、冬季デフリンピックの男女ペアのカーリングに出場し、銅メダルを獲得しています。荒谷さんご子息は夏季休業中にメダルを見せに来校してくれました。

また、8月に八戸市やその周辺に在住する20代後半から30代前半の卒業生がYSアリーナ八戸に集まり、ミニ同窓会を行いました。会食やゲームをしながら互いの近況を語り合う様子が見られ、卒業生の就労場所やこれからの希望について聞くことができました。

さらに、8月と2月には、東京2025デフリンピックの陸上競技の男子短距離走に出場した佐々木さんの壮行会と報告会がアピル五戸でありました。私は彼が中1～中3の時に学級担任をしていたこともあり、教え子を応援したいという思いから参加しました。メダルを獲得することで五戸町や聴覚障がい者を元気にしたいという発言が印象的でした。中学部の修学旅行では、駒沢オリンピック公園に行き、東京2025デフリンピックの陸上競技を観戦しました。卒業生の二人が出場するところは見ることができなかったのですが、観戦したことにより100年の記念大会の盛大さを感じることができました。

八戸聾学校は、一人一人の個性を生かし、将来たくましく生きていくことを目指した教育を行っています。社会に出ると、困難を克服しなければならないことがあります。卒業生は困難を克服し、社会で活躍しています。これから社会に出て行くことになる八戸聾学校のこどもたちは、たくましく生きていけると私は信じています。将来なりたいこと、やりたいことを実現するために、具体的な目標を立て、根気強く取り組んでほしいです。こどもたちが社会で生きていけるようにするために指導・支援していきますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。



ひなまつり会



3月3日(火)、ひなまつり会では、ひなあられや甘酒をお供えした後、みんなで会食を楽しみました。お菓子や甘酒の甘さにびっくりしていましたが、甘酒をお友達に注いであげたり、座布団に正座をしたりして、しっとりと日本の文化を味わっていました。



児童総会

2月27日(金)、児童総会が行われました。各係は、これまでの活動をふり返り、話し合いを通してまとめた成果や課題について発表しました。とくに課題の発表では、今後どのように改善し、よりよい係活動にしていくかを主体的に考える姿が見られました。

発表後に、各係に向けて、時間が足りなくなるほど多くの感謝の言葉が寄せられ、温かい雰囲気にもまれた総会となりました。

キラキラテキパキ
かんきょう係



キラキラれんらく係



キラキラほけん係



おいしい！ランチ係





ダンボール望遠鏡作り

3月2日(月)5・6校時、八戸市内に事業所をもつ企業「トイ」による皆既月食や望遠鏡の仕組みなどを学ぶワークショップが行われ、中学部の生徒も参加しました。前半は光や色の性質を学んだ後、セロハンを使って万華鏡を作り、色の変化を観察しました。後半はダンボール製の望遠鏡の使い方を学びました。その望遠鏡を使い、体育館の上部にあるモナリザの絵にピントを当てて、大きな絵が何で作られているかを探っている人がいました(ちなみに、体育館上部にあるモナリザの絵は小さな一枚一枚の国旗の絵から作られています)。翌日の3月3日は、残念ながら曇り空で皆既月食を見ることはできなかったようです。

最後に中学部生徒の感想を簡単に紹介します。「いただいた望遠鏡で月食や土星など様々なものを見てみようと思います」「果物や花などの仕組みを顕微鏡で見て、すごいなと思いました」「魔法ののぞき窓でいろいろな物が大きく見えて、とても面白かったです」



顕微鏡での観察



万華鏡作り



皆既月食の仕組みの学習



ダンボール製望遠鏡を使って体育館を観測!



春休みの過ごし方について

修了生や卒業生は今年度の学習が終わり、在校生は3月25日(水)に修了を迎えます。この1年を振り返り、頑張った自分に大きな拍手を送りましょう。学校では、春休み中の生活について指導していますが、ご家庭におかれましても、下記のことを一緒に確認しながら、新年度へ向けてご指導をお願いいたします。

<生活について>

- ①規則正しい生活→「睡眠」のリズムと「食事」「運動」のバランスを大切に。
- ②お金の使い方→必要のないお金を持ち歩かない、お金を勝手に使わない。貸し借りしない。
※お金の大切さが分かりしっかり使えるようになるまでは、保護者が把握して管理してあげることが大切です。

<安全について>

- ①お店やゲームコーナーなどには一人で、または、こどもだけで行かない。
※ゲームゲームコーナー等では、金銭乱費、恐喝被害等に巻き込まれる恐れがあります。
- ②インターネット、SNSの利用→使用時間を守る。知らない人と繋がらない。写真を載せない。
※利用についての約束を決めましょう。また、こどもがどんな使い方をしているか、何を見ているか把握しましょう。フィルタリングやペアレンタルコントロール機能の設定をしましょう。



修了・卒業を祝う会

今年度、寄宿舎では盲聾合わせて7名の寄宿舎生が修了・卒業します。そうした中、3月6日、合同の行事「修了・卒業を祝う会」が行われました。

寄宿舎生活での頑張りを賞状で受け取り、感動の嵐……。その後は聾舎からは秋山さんと関さんの「MILK!Grls」がダンスを披露してくれました。盲舎からは舎生職員一緒に「いきものがかりを」熱唱しました。最後はみんなで「借り物ゲーム」をして楽しく明るく、笑顔で会を終えることができました。

これからのみなさんの成長と活躍をととても楽しみにしています。



☆☆☆今年度の表彰☆☆☆

・第38回八戸市学生書道展

八戸三八城ライオンズクラブ賞
準特選 Aさん Bさん

・第24回鷹山賞児童作品展

入選 Aさん Bさん Cさん Dさん

・第41回棟方志功版画まつり

入選 Bさん Cさん Eさん Fさん Gさん
Hさん Iさん Jさん

・校内読書賞

幼稚部 第1位 Kさん 76冊
小学部 第1位 Eさん 122冊
中学部 第1位 Fさん 43冊



これからも本をたくさん読んでほしいです！

八戸聾学校のホームページでも学校だよりをご覧ください。
献立や行事の様子などもアップされていますのでぜひご覧ください。
各種検索サービスから「八戸聾学校」で検索、またはQRコードからアクセスください。

